

観光学・環境教育論研究室

教員名：深見 聡

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

さまざまな観光現象や環境学習と地域社会の関わりについて、**フィールドワーク**をとおした**実証的研究**に取り組んでいます。

本研究室では、とくに観光資源となる自然や歴史・文化遺産など地域環境の保全と住民意識に注目し、「**持続可能な地域づくりのあり方**」について、質的調査を中心とした方法(ヒアリング調査・ライフヒストリー調査、参与観察など)からのアプローチをおこなっています。

地域環境の保全策には、さまざまな方法や効果、課題がありますが、観光現象からの研究は、**地域環境の保全と利用の適正化に関して地域づくりの現場で役立つもの**と考えています。

□研究室の主要な研究テーマ□

- (1)世界遺産観光やエコツーリズムなどの観光現象が、地域環境にもたらす**「正」と「負」のインパクト**(とくに**観光公害=オーバーツーリズム**の低減化策)
- (2)ジオパーク、ジオツーリズムと地域資源の**観光資源化プロセス**
- (3)小規模島嶼など条件不利地域における**持続可能な地域づくり**
- (4)ダークツーリズムや災害復興と観光など「**新しい観光**」の役割
- (5)学校教育・地域社会教育の現場に求められる**観光教育・環境教育**の役割
- (6)日本をとりまく**地政学的・時事的問題**と地理教育・環境教育の果たす役割



桜島でのフィールドワーク



ゼミ巡検で広島へ



ゼミ(演習形式の授業)のようす

● 先輩はどんなところに就職しているの？

公務員(市役所・県警)、国立大学法人職員(事務職)、商工会議所、旅行・運輸、銀行、保険、新聞社、貿易、コンサルタント、アパレルなど民間企業となっています。その他、引き続き大学院に進学して研究を深め、大学教員になった学生もいます。